

7月の主な行事予定

日	曜日	内容	放課後 遊び
1	日	英検二次	
2	月	全校朝会 なかよし交流(低) 発育測定(低) 給食試食会 安全指導	○
3	火	クリーン作戦 発育測定(中)	○
4	水	5時間授業 水曜時程 発育測定(高) SC	○
5	木	都学力向上調査(5年) 放課後鼓隊 なかよし交流(予備日)	○
6	金	七夕集会 三校交流(あしたば) クリーン作戦(予備日) 英語村合宿	○
7	土	三校交流(あしたば) 英語村合宿	
8	日		
9	月	全校朝会(防災) 5時間授業	○
10	火		○
11	水	5時間授業 水曜時程	○
12	木	たてわり班活動	○
13	金	体育委員会集会 保護者会(6時間目1~3年・あしたば/放課後4~6年) JET(日本の伝統・文化の良さを発信する育成事業) SC	○
14	土		
15	日	荘川小交流	
16	月	海の日 荘川小交流	
17	火	荘川小交流 ネット安全教室(4~6年)	○
18	水	5時間授業 水曜時程 SOSの出し方に関する授業(6年) SC	×
19	木	たてわり班活動(たてわり給食)	○
20	金	終業式 5時間授業 給食終 大掃除(5時間目)	×
21	土	夏季休業日始	
22	日		
23	月	夏季水泳指導①	
24	火	夏季水泳指導②	
25	水	夏季水泳指導③	
26	木	夏季水泳指導④(検定日)	
27	金	夏季水泳指導⑤(判定日)	
28	土		
29	日		
30	月		
31	火		

※SCは、スクールカウンセラー来校予定日

- 【生活指導目標】 健康を考えて生活しよう。
- 【安全指導目標】 夏の安全な過ごし方を考えよう。
- 【保健指導目標】 夏を健康に過ごそう。
- 【給食指導目標】 旬の食べ物を知り、夏を元気に過ごそう。



学びの庭

No. 123 7月号
平成30年6月29日
新島村立新島小学校
学校だより

大切な命を守るために

校長 加藤 謙二

六月十八日に最大震度で六弱を記録した大阪北部地震が発生しました。この地震の影響で、小学校のブロック塀が倒壊し、下敷きになった子供が亡くなったという痛ましい事故が起きています。

大阪北部地震は極短周期地震動の地震でした。地震は、揺れが一往復するのにかかる時間(周期)の違いで区分けできます。極短周期地震動とは周期が0.5秒以下の小刻みな揺れが特徴です。この種の地震は、建物自体よりも屋内の家具が共振しやすく固定されていない、又は固定の甘い家具は転倒します。また、小刻みな揺れのために瓦や外装材の剥離、ブロック塀の倒壊といった被害が出やすいのです。私たちの暮らす新島にこうした地震が起きた場合、どうなるでしょうか。とても大きな被害が出るのではないかと心配しています。抗火石が積まれただけの塀や控壁のないブロック塀などの危険な場所が子供たちの登下校で使つて

いる道路の近くにあるからです。

学校では毎月避難訓練を行い、また、防災朝会や学級指導等で、子供たちに地震や火災、津波等の災害に対する行動や心構えを教えています。それは、子供たちの大切な命を自分で守るためです。しかし、このことは学校だけで済むことではありません。家庭でも次の点について、「ざざ」という時の行動の基本」として、ぜひ、お子さんと話し合ってください。

- ① 周りの様子をよく見ながら落ちてこない、倒れてこない、移動しない「場所に行く。
- ② 地震では揺れが収まってから行動する。
- ③ 火を使っているときは、揺れが収まってから慌てずに火の始末をする。出火したら落ち着いて初期消火する。
- ④ 揺れが収まった時にいつでも避難できるよう窓や戸、玄関を開けて出口を確保する。
- ⑤ 屋外ではガラスや塀から離れる。頭を守る。
- ⑥ 大きな地震が起きたら津波が来ると思い、15分以内に高台に諦めずに走って逃げる。

更にできれば、村全体で安全点検の機運が高まり、各自がもう一度自分の家や近所の様子を十分に見て回り、危険な箇所がないか総点検ができたらと思います。そして、見付けた危険箇所を各自で直していくことで、子供たちはもちろん、村に暮らす全ての人の大切な命が守られると思うのです。

五年生移動教室

五年担任 土橋 弘明

五月二十三日（水）から二十六日（土）の日程で、移動教室に行ってきました。今年は、雨空で肌寒い天気の出発でしたが、都内では天候に恵まれた日程でした。十一名で決めたスローガン「みんなで協力し、楽しみながら友情を深める移動教室」を達成しようとする姿が、島しょ会館での生活、公共の場でのマナーや振る舞い、各見学先での学びなどで見られました。今年は、移動教室の合言葉「学び」「感謝」「加減」も設定しました。行程中のいろいろな場面で合言葉を意識した子供たちでした。そんな子供たちの各見学先での様子を紹介します。

- ① 日産浜浜工場
自動車の車体を組み立てる行程を見学しました。「プレス↓溶接↓塗装↓組立↓最終検査↓輸送」という一連の流れを学んだあと、実際に組立工程と輸送のために自動車が進むための専用ふ頭を見学しました。誰が作業しても同じ品質で仕上げられるようにするための工夫や仕事を分けて行っていることを知ることができました。



- ② 毎日新聞東京本社
新聞の歴史や、新聞を発行するまでの一連の流れを学ぶことができました。普段社員以外は入ることのできない社内見学では、実際に働いている様子を見ることができ、子供たちは感激していました。昭和初期の古い新聞をデジタル化する作業を見ることができました。そして、なんと！子供たちの見学の様子が五月二十六日付の「毎日小学生新聞」の一面に掲載されました。

- ③ 皇居東御苑
毎日新聞社から歩いて、皇居東御苑を散策しました。都心の真ん中にこんなに広い緑の場所があることにも驚きましたが、天皇家が住まう前は徳川家の将軍が住んでいたことも知ることができました。

- ④ キッザニア東京
様々な職業体験をしました。体験して作ったものを食べたり、お金を稼いだりと、非日常的な活動の連続でした。その中で働くとは、仕事をしてお金をもらうことだけではなく、「お客様のことを考えたり、暮らしを守ったり、責任をもつたりすることであるということ。」「決して楽ではないが、やりがいがあること。」など、体験を通して学ぶことができました。



- ⑤
石炭や天然ガス、石油といった化石燃料からエネルギーについて考えました。エネルギーの使い過ぎは地球に二酸化炭素が増えちゃう原因になることを学び、二酸化炭素が増えることは地球温暖化や海洋酸性化につながることを知りました。環境のために少しでも自分たちができることは何なのかを考える大切な時間でした。



これからの学校・家庭生活に学んできたことを生かせるように移動教室でのことを振り返りながら支援していきたいと思えます。

地区音楽会を終えて

地区音楽会担当 土橋 弘明

第六十一回新島地区音楽会が、式根島小学校にて行われました。予定では、十二日の開催でしたが、台風による影響と「にしき」の運行状況等で翌日十三日の開催になりました。子供たちの一生懸命な練習の成果が実り、素晴らしい発表となりました。

低学年の「LET'S GO! いいことあるさ」は、新小バージョンにアレンジされた元気いっぱいの歌でした。「ウィーン」の音楽時計の合奏は一人一人が正確なリズムを刻むように演奏することができました。高学年の「RAIN」は、二つのパートに分かれて歌うことに挑戦し、透明感のあるきれいな歌声でした。トランペット鼓隊「小さな恋のうた」では、パートのかけ合いや打楽器のリズムの重なりを付けてかっこよく演奏することができました。

御来校の皆様、ありがとうございました。



若郷キャンプを終えて

四年担任 島田 聖也

天気心配される中、五月十八・十九日に四年生の若郷キャンプが行われました。このキャンプに向けて、四年生はたくさん準備を重ねてきました。

初めてのテント張りは、三十〜三十五分かかりました。しかし、一番では十五分台で張れるまでになりました。食事作りに大切な火おこしや火の管理についても、マッチを安全に擦ることから始めました。また、コーガ石でかまどを組み、火をおこすのにどう組めばいいのか。どこから火を着けるのか。その後、火を燃やし続けるにはどうするのか。火を怖がらずにコントロールするには、どんなことに気を付けるのかを体験しながら、身に付けていきました。他にも、自分の係の原稿やプログラム、内容や構成を考えて練習をしては工夫を繰り返しました。どうすることがよりよくなって、みんなの思い出となるかをめあてに、必要な準備を進めました。そうして準備を進めていく中で、子供たちの期待はどんどん高まっていきました。

当日、子供たちは、テント張りやレク、飯盒炊きさんなどを通して、「楽しい」だけではなく、本番と練習の違い、例えば、場所が異なるのと風向きが違う、天気が違う、人が本当にいるのは違うなど・・・。「うまくいかない」ことも学びました。



若郷キャンプを通して四年生は、また一回りも二回りも大きく成長したように感じます。これからさらに成長していく姿を担当として楽しみに、見守っていきます。最後になりましたが、準備や子供たちとキャンプファイヤーを共にしてくださった保護者の皆様、安全のために御協力してくださった若郷駐在所の赤羽様、若郷消防団の方々、地域の皆様、本当にありがとうございました。